

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 都地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>1 身近なコミュニティづくりの推進</p>	<p>1 地域支えあい連絡会の設置・推進</p> <p>【目的】 地域課題の解決に向け、関係団体の連携・協力を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年数回開催される都地区連協主催の会議を通して、地区連協・スポーツ振興会・社協の3つの団体の行事日程の調整や協力要請等、都地区として連携して活動を行っている。</li> <li>・地区部会の中心である民生委員が、各自治会とのパイプ役を果たしてくれたことで、コロナ禍で会う機会が少ない中でも活動が順調に進んだ。</li> </ul>
	<p>2 支え合い活動の仕組みづくり</p> <p>【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動拠点が定まらないことが長年の課題であった。</li> <li>・今後については、活動の拠点として近隣の自治会館を提供していただくことが可能になり、今後の活動の幅が広がるのではと期待している。</li> <li>・買物支援対策として、“移動スーパー”を毎週実施しているが、徐々に利用者の増加がみられ、将来的には、都地区全体に拡充できたらと思っている。</li> </ul>
	<p>4 災害時に支援を必要とする人の避難支援</p> <p>【目的】 災害時に機能するサポート体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会の中で、自主防災組織を組織している地域では、年に一度防災訓練を実施している。</li> <li>・自治会によって相違はあるが、9月に“防災パトロール”12月には“火の用心パトロール”を各一週間程度実施している。</li> <li>・都地区では「都小学校避難所運営委員会」が設立されており、各自治会の防災会関係者が結集し、年に一度、避難訓練を実施している。内容としては、DVDによる防災意識の啓発活動や防災資機材の定期点検等を行っている。</li> </ul>
	<p>5 すべての子どもを地域で育てる</p> <p>【目的】 近所の子どもと顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロン「いちごミルク」親子参加の「芋ほり大会」については、再開に向け、チラシや名簿作成等を進めていたが、開催の目途は立たなかった。</li> <li>・都小主催の「いちようまつり」も中止の連絡があった。</li> <li>・地区でのイベントはすべて中止となった。</li> <li>・都小学校の行事は、規模を縮小したとの事。</li> <li>・民生委員主催で開催していた「みやこお楽しみ会」は、対象者が未就学前児童～小3の親子であることを重視し、感染拡大防止対策として、中止と判断した。</li> <li>・「セーフティウォッチャー」の活動や「子ども110番」の協力等子ども達の安全を守る環境は整っていると思われる。</li> </ul>

## 都地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p><b>7 地域での健康づくり支援の充実</b></p> <p>【目的】 介護予防、ひきこもりの防止を兼ねた交流の場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各老人会での活動の違いはあるが、屋外での活動ということで、グランドゴルフは続けているが、「カラオケ」や「お茶会」は中止となった。</li> <li>ラジオ体操は変わらず実施している。</li> </ul>
	<p><b>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</b></p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<p>No.5と同様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサロン「イチゴミルク」親子参加の「芋ほり大会」については、再開に向け、チラシや名簿作成等を進めていたが、開催の目途は立たなかった。</li> <li>都小主催の「いちようまつり」も中止の連絡があった。</li> <li>地区でのイベントはすべて中止となった。</li> <li>都小学校の行事は、規模を縮小したとの事。</li> <li>民生委員主催で開催していた「みやこお楽しみ会」は、対象者が未就学前児童～小3の親子であることを重視し、感染拡大防止対策として、中止と判断した。</li> <li>「セーフティウォッチャー」の活動や「子ども110番」の協力等子ども達の安全を守る環境は整っていると思われる。</li> </ul>
	<p><b>10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進</b></p> <p>【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ振興会主催の行事 ①運動会、②民謡大会は全て中止となった。</li> </ul>
	<p><b>11 世代間交流の場の提供</b></p> <p>【目的】 誰もが、気軽に出入りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会主催の盆踊り大会もすべて中止となった。</li> </ul>

## 都地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会主催の行事は全て中止となった。</li> </ul>
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ふれあい食事サービス」が会食方式ということで実施できず、「ボランティア研修会」も中止せざるを得なかった。</li> <li>「ふれあい食事サービス」で取り入れる“健康セミナー”は実現しなかったが、自治会として開催した。</li> </ul>
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実  【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の民生委員で対応可能な問題については、その都度経緯と結果を報告してもらい、都地区全体としての問題が発生した場合は、各自治会長等関係者を交えて適切に対応している。</li> </ul>
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用  【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「都地区部会だより」を年1回発行し、地域の情報と共にコロナ感染対策についても掲載した。</li> </ul>

## 都地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進 【目的】 地域で福祉の心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老懇親会は中止となった。</li> <li>・これまで都地区では、4ヶ所で盆踊り大会が実施されてきたが、すべて中止となった。</li> <li>・都小4・5年生を対象に、「わくわくキャンパス」で地域住民が協力している、障子貼り・米づくり等の体験指導については、規模を縮小して実施した。</li> <li>・都地区では、年に6回の「ふれあい食事サービス」と併せて、「ボランティア研修会」、「健康セミナー」、「出前講座」等を実施していたが、会食形式のため実施できなかった。ただ、「健康セミナー」については、自治会単位で実施した。</li> </ul>
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進 【目的】 地域を住民自ら守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都地区の10町内自治会が、6つの「防犯パトロール隊」を編成し、徒歩によるパトロールを実施している。</li> <li>・「子ども110番」のポスターを掲示することで、子ども達の安心・安全を見守っている。</li> <li>・「移動交番」がみやこ図書館に月2～3回開設されている。</li> </ul>
	19 防災体制の充実 【目的】 地域の防災力を高める。	No.4と同様。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会の中で、自主防災組織を組織している地域では、年に一度防災訓練を実施している。</li> <li>・自治会によって相違はあるが、9月に“防災パトロール”12月には“火の用心パトロール”を各一週間程度実施している。</li> <li>・都地区では「都小学校避難所運営委員会」が設立されており、各自治会の防災会関係者が結集し、年に一度、避難訓練を実施している。内容としては、DVDによる防災意識の啓発活動や防災資機材の定期点検等を行っている。</li> </ul>

## 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

## 末広地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
1 身近なコミュニティづくりの推進	1 地域支えあい連絡会の設置・推進 【目的】 地域課題の解決に向け、関係団体の連携・協力を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員主体の活動でも、問題が発生した場合、町内自治会と連携して解決する体制が整っている。</li> <li>・あんしんケアセンター千葉寺と開催している「地域ケア会議」は、コロナの為中止。</li> <li>・あんしんケアセンター千葉寺主催で、各町内自治会が参加し、地域課題等について情報の共有の場となっている「地域住民、福祉・介護専門職交流会」は、コロナの為中止。</li> <li>・末広中学校、寒川小学校、PTA、民生委員・児童委員、青少年育成委員会等による会議もコロナの為中止。</li> </ul>
	2 支え合い活動の仕組みづくり 【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が主体となって活動している。(外出補助・話相手等)</li> </ul>
	3 見守り体制をつくる 【目的】 支援を必要とする人を日頃の付き合いの中で見守りながら、災害時に備える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内自治会ごとに、市から「避難行動要支援者名簿」の提供を受け活動中。</li> <li>・見守り活動については、3町内自治会が実施している。 1町内自治会では、自治会と民生委員が連携し、活動している。</li> </ul>
	5 すべての子どもを地域で育てる 【目的】 近所の子どもと顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒川小学校、末広中学校の生徒の登下校時に、セーフティウォッチャー活動をしている。</li> <li>・子育てサロンを1会場、年10回開催した。</li> <li>・「こども110番の家」に地域住民が協力している。</li> </ul>

## 末広地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p>6 ふれあい・いきいきサロンの充実</p> <p>【目的】 身近な所で、つどい、交流する場所と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンを3会場で例年月1回程度開催しているが、コロナの為中止。</li> <li>・老人クラブの活動も活発であるが、同様に中止。</li> </ul>
	<p>7 地域での健康づくり支援の充実</p> <p>【目的】 介護予防、ひきこもりの防止を兼ねた交流の場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会主催で年2回、グラウンドゴルフ大会を開催して、地区全体の交流を深めた。</li> <li>・4町内自治会ごとに老人クラブがあり、グラウンドゴルフを開催するなど、活発に活動しているが、R3年度はコロナの為中止。</li> <li>・末広公民館で、週1回、シニアリーダー体操が行われているが、コロナの為中止。</li> </ul>
	<p>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館主催で、子供を対象としたお菓子教室、ビーズ作り等のイベントは、コロナの為中止。</li> </ul>
	<p>9 子育てサロンの充実</p> <p>【目的】 子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンを1会場、年10回開催した。</li> </ul>
	<p>10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進</p> <p>【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続支援として、地区部会の障害者福祉委員会とボランティア委員会が、亥鼻作業所で毎週水曜日と毎月第3火曜日、ミシンかけやハンガー作り等の作業支援を行っている。また、心身障害者福祉作業所「青い空」で月2回、軽作業支援を実施しているが、何れもコロナの為中止。</li> </ul>
	<p>11 世代間交流の場の提供</p> <p>【目的】 誰もが、気軽に入出りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブが千葉寺保育園を年1回訪問し、交流を図っている。</li> <li>・地区内に新設された2か所の保育園が、地域のお祭り等へ参加し、交流を図っている。</li> <li>※ 何れもコロナの為中止。</li> </ul>

## 末広地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
3 社会参加の推進	<p>12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進</p> <p>【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。</p>	<p>・地区部会や町内自治会等の役員は高齢者が中心であり、各団体の行事等ではスタッフとして活動している。 ※ コロナの為中止</p>
	<p>13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進</p> <p>【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。</p>	<p>No.10と同様。</p> <p>・継続支援として、地区部会の障害者福祉委員会とボランティア委員会が、亥鼻作業所で毎週水曜日と毎月第3火曜日、ミシンかけやハンガー作り等の作業支援を行っている。また、心身障害者福祉作業所「青い空」で月2回、軽作業支援を実施しているが、何れもコロナの為中止。</p>
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	<p>14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供</p> <p>【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。</p>	<p>・いきいきサロンで、福祉講座（健康講座や介護予防講座等）を実施しているが、コロナの為中止。</p>

## 末広地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実 【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が主体で町内自治会役員と連携して対応している。</li> </ul>
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用 【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌を年1回発行している。</li> </ul>
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進 【目的】 地域で福祉の心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒川小学校4年生に、消防団の小屋の見学と放水体験を年1回実施している。</li> <li>・学校からの依頼を受け、地域の歴史を学ぶため、寒川小学校3年生が千葉寺、稲荷神社を見学する際、協力している。</li> <li>・いきいきサロンで、福祉講座（健康講座や介護予防講座等）を実施している。</li> </ul> ※ 何れも、コロナの為中止。
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進 【目的】 地域を住民自ら守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯パトロールを月2回実施。</li> <li>・千葉交番職員が防犯パトロールに同行して実施。</li> <li>・「こども110番の家」に地域住民が協力している。</li> </ul>
	19 防災体制の充実 【目的】 地域の防災力を高める。	No.4と同様。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織が設置されている町内自治会では、大規模訓練が実施できず、「無事タオル」を玄関先に掲示する安全確認訓練を実施。</li> <li>・災害時に迅速な避難が行えるようにするため、地域の各団体と協議を進め、末広中学校、末広公民館の避難所運営委員会が設立された。今後、避難所の運営方法や訓練の実施に向けた協議を進める。                なお、既に設立されていた避難所運営委員会では、避難所開設訓練の実施を予定していたが、コロナの為中止。</li> </ul>



# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 寒川地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<b>1 身近なコミュニティづくりの推進</b>	<b>1 地域支えあい連絡会の設置・推進</b> 【目的】 地域課題の解決に向け、関係団体の連携・協力を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内自治会長や民生委員が地区部会にも入っており、福祉活動推進員も町内自治会役員であるため、情報の共有はできている。</li> <li>・子ども達の見守りについて話し合うため、寒川小学校、末広中学校合同の会議を例年開催しているが、コロナの為中止。</li> </ul>
	<b>2 支え合い活動の仕組みづくり</b> 【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会としてボランティア登録、拠点づくりは検討していない。</li> <li>・毎年、いきいきサロンのボランティアを町内自治会の回覧板で募集したり、町内自治会の婦人部に依頼しており、数十名のボランティアが集まるが、コロナの為中止。</li> </ul>
	<b>3 見守り体制をつくる</b> 【目的】 支援を必要とする人を日頃の付き合いの中で見守りながら、災害時に備える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6町内自治会すべてにおいて、災害時要支援者の内、見守りを希望する方に対し、各町内自治会が行いやすい手法により、目配りや声かけなどの見守り活動を実施した。</li> </ul>
	<b>5 すべての子どもを地域で育てる</b> 【目的】 近所の子どもの顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての町内自治会で、PTAと共に町内自治会内の民生委員がセーフティウォッチャーに協力し、児童の登下校の見守り活動をしている。</li> <li>・寒川保育所で子育てサロンを年12回開催しているが、コロナの為中止。</li> <li>・子ども会主催で秋季に子どもの広場を実施しているが、コロナの為中止。</li> <li>・寒川小学校の1年生の課外授業で、ボランティア委員会が中心となり、昔遊びを教えているが、コロナの為中止。</li> <li>・寒川小学校の「わくわくキャンパス」に地域住民が協力し、1回実施した。</li> <li>・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。</li> <li>・子ども達の見守りについて話し合うため、寒川小学校、末広中学校合同の会議を開催するが、コロナの為中止。</li> </ul>
<b>2 交流の場と仲間づくり</b>	<b>6 ふれあい・いきいきサロンの充実</b> 【目的】 身近な所で、つどい、交流する場所と機会を拡充する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンを町内自治会ごとに月1回開催している。(全6町内自治会) また、町会によっては老人クラブも、サロンを毎月1回開催しており、地区部会主催事業と併せると月2回開催していたが、何れもコロナの為中止。</li> </ul>

## 寒川地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p><b>7 地域での健康づくり支援の充実</b></p> <p>【目的】 介護予防、ひきこもりの防止を兼ねた交流の場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内自治会でグランドゴルフは盛んに行われているが、コロナの為一部で開催。</li> <li>・地区連協主催のグランドゴルフ大会を開催。地区部会主催のグランドゴルフ大会は「社協まつり」のプログラムに組み込み開催していたが、コロナの為中止。</li> </ul>
	<p><b>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</b></p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒川小学校の1年生の課外授業で、ボランティア委員会が中心となり、昔遊びを教えている。また、4年生を対象に車椅子体験講座を開催している。</li> <li>・寒川小学校の「わくわくキャンパス」に地域住民が協力している。</li> <li>・夏の寒川神社・稲荷神社のお祭りに子ども会が参加している。</li> <li>・子どもを対象としたグランドゴルフを行っている。</li> <li>※ 何れもコロナの為中止。</li> </ul>
	<p><b>9 子育てサロンの充実</b></p> <p>【目的】 子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、寒川保育園で子育てサロンを実施していたが、コロナの為中止。</li> </ul>
	<p><b>10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進</b></p> <p>【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数人の障害者が地域に暮らしており、各町内自治会役員（地区部会役員も含む）や民生委員が地域で見守っている。</li> <li>・寒川2丁目自治会のウィークリーサロン（お茶のみ会）に視覚障がいの方が参加している。</li> <li>・社協祭りに軽度の身体障がいの方が参加している。</li> <li>※ 何れもコロナの為中止。</li> </ul>
	<p><b>11 世代間交流の場の提供</b></p> <p>【目的】 誰もが、気軽に出入りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロン開催時（12回中4回）に、各町内自治会より高齢者が参加している。</li> <li>・「社協まつり」や寒川神社・稲荷神社のお祭り等、誰でも参加できるイベントで交流を図っている。</li> <li>※ 何れもコロナの為中止。</li> </ul>

## 寒川地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会が実施している「いきいきサロン」「社協まつり」等の各種事業に、高齢者がボランティアとして参加しているが、コロナの為に中止。</li> </ul>
	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	No.10と同様  <ul style="list-style-type: none"> <li>・数人の障害者が地域に暮らしており、各町内自治会役員（地区部会役員も含む）や民生委員が地域で見守っている。</li> <li>・寒川2丁目自治会のウィークリーサロン（お茶のみ会）に視覚障がいの方が参加している。</li> <li>・社協祭りに軽度の身体障がいの方が参加している。</li> </ul> ※ 何れもコロナの為に中止。
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内自治会ごとに、「いきいきサロン」単位で、市の出前講座などを開催している（全6町内自治会、計6回）。</li> <li>・地区部会として、健康講座（1回）や災害時要支援者避難訓練（1回）を実施している。</li> <li>・地区部会では、寒川小学校4年生を対象に、車椅子体験講座を年1回開催した（100人の児童が参加）。</li> </ul> ※ 開催の準備はしたものの、コロナの為に、何れも開催には至らなかった。

## 寒川地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実 【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に、地区部会役員が役割を担っている。</li> </ul>
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用 【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回社協だよりを発行した。</li> <li>・各町内自治会も定例会の内容を回覧板で地域にお知らせしている。</li> <li>・一部の町内自治会では、防災マップを作成し、活用している。</li> </ul>
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進 【目的】 地域で福祉の心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会では、寒川小学校4年生を対象に、車椅子体験講座を年1回開催している（100人程度の児童が参加）。</li> <li>・敬老会に寒川小学校・末広中学校の吹奏楽部が参加し、合同で演奏する機会を設け、活動を通じて、福祉の心を育むとともに、寒川小学校の「わくわくキャンパス」に地域住民が協力している。</li> <li>・寒川小学校の1年生の課外授業では、地区部会が中心となり、昔遊びを教える活動を通じて交流を図っている。</li> <li>・地区部会が健康講座を年1回開催するとともに、町内自治会ごとに市の出前講座などを開催している。</li> </ul> ※ 何れもコロナの為に中止。
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進 【目的】 地域を住民自ら守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全6町内自治会ごとに、警察の協力を得て防犯パトロールを実施し、防犯意識を高めたているが、コロナの為に、回数・人数を減らして実施した。（全6町内自治会）</li> <li>・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。</li> </ul>
	19 防災体制の充実 【目的】 地域の防災力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時に備え、例年、地区部会が、災害時要支援者の避難訓練を実施するとともに、避難所運営委員会が、6町内自治会合同の防災訓練を実施しているが、コロナの為に中止。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料 3-3

## ちば中央地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
1 身近なコミュニティづくりの推進	1 地域支えあい連絡会の設置・推進 【目的】 地域課題の解決に向け、関係団体の連携・協力を深める。	・「歌と踊りの集い」の開催に併せて、各町内自治会、民生委員・児童委員、福祉活動推進員、子ども会等の交流を図っているが、コロナの為に中止。
	2 支え合い活動の仕組みづくり 【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。	・「オリーブ亥鼻作業所」の地域交流会に参加し、協力しているが、コロナの為に中止。 ・地域住民の個別相談は民生委員を中心に、地区部会役員や町内自治会で対応している。
	5 すべての子どもを地域で育てる 【目的】 近所の子と顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。	・青少年育成委員会を中心に、小中学校PTA、子ども会、町内自治会、老人会、地域の事業者等に協力をお願いし「こども110番のいえ」に取り組んでいる。 ・登下校時はセーフティーウォッチャーとして児童生徒への見守り・声掛けを継続して実施している。
2 交流の場と仲間づくり	6 ふれあい・いきいきサロンの充実 【目的】 身近な所で、つどい、交流する場所と機会を拡充する。	・地区内の町内自治会では住民交流の場として自治会館を開放しているところも有る。 ・地区部会では、第4期計画期間中に、住民が気軽に参加できる集いの場を提供する具体的な取り組みとして、あんしんケアセンター中央、プラチナホーム都の杜なのはなと協議を重ね、近隣住民が参加できる認知症カフェをモデル的に実施したが、コロナの影響もあり、定期開催には至っていない。
	7 地域での健康づくり支援の充実 【目的】 介護予防、ひきこもりの防止を兼ねた交流の場と機会を拡充する。	・町内自治会連絡協議会、老人クラブでは、地域のスポーツ推進委員と連携し軽スポーツ競技を実施している。 ・地区部会では「ポッチャを楽しむ会」を開催し、住民の交流の場を提供した。

## ちば中央地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会、青少年相談員、育成委員会で小学生対象に「夕涼み会」を実施した。</li> <li>・10月に子ども会、スポーツ推進員、学校が中心となり、地区親子運動会を開催した。</li> <li>・12月、青少年相談員が中心となりクリスマス会を開催。本年も淑徳大学の学生が参加児童たちの交流を図った。</li> <li>・1月、葛城公民館において子ども会・青少年相談員・青少年育成委員会による「こども書初め展」同表彰式を開催した。</li> </ul> <p>※ いずれもコロナの為中止。</p>
	<p>9 子育てサロンの充実</p> <p>【目的】 子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンは2会場を使用し、毎月開催しており、参加者から好評をいただいているが、コロナの影響で、4月のみの開催となった。</li> </ul>
	<p>10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進</p> <p>【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア委員会は「オリーブ亥鼻作業所」の地域交流会に参加し、協力している。</li> <li>・地域住民との交流は、「歌と踊りの集い」開催時に亥鼻作業所に出店依頼をし、交流の機会を提供している。</li> <li>・亥鼻作業所の地域交流会（文化祭）開催案内のポスターを地域で掲示し周知に協力している。</li> <li>・地区部会が開催している「ポッチャを楽しむ会」に障がい者も参加している。</li> </ul> <p>※ いずれもコロナの為中止</p>
	<p>11 世代間交流の場の提供</p> <p>【目的】 誰もが、気軽に入出りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の交流の場を提供している町内自治会にあっては、気軽に立ち寄れるように囲碁・麻雀・カラオケ等を楽しめる場を設けていただいている。</li> <li>・8月に有志町内会合同の盆踊りを小学校で開催。地域外からの児童生徒の参加も認められ、世代間、地域間交流に役立っている。</li> <li>・葛城子ども会では、スイカ割りやクリスマス会等の行事を通じて交流を図っている。</li> </ul> <p>※ いずれもコロナの為中止</p>

## ちば中央地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会や町内自治会の事業・行事の運営は高齢の役員が多く参加している。一般住民の高齢者が活躍できる場を増やしたいが、ハードルは高そうに思える。</li> <li>・地区部会のボランティア委員会が、年3回、使用済み切手の整理を行っており、地域のボランティアの活動の場を提供している。</li> </ul>
	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌と踊りの集い（敬老会）において、「オリーブ亥鼻作業所」の出店協力を行っている。</li> <li>・民生委員の高齢者調査にあわせて、独自に、聴力・視力などの低下状況について聞き取りを行い、極端に低下している場合は、行政が実施しているサービスを紹介している。</li> </ul>
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が認知症や振り込め詐欺の啓発を町内自治会でやっている。</li> </ul>
5 相談体制、情報提供の場づくり	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用  【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協だより「きづな」を年3回発行、地域の各種情報を紹介した。</li> </ul>
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進  【目的】 地域を住民自ら守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の町内自治会では、時間を定め複数人のチームで防犯パトロールに取り組んでいる。全町内会での実施は困難である。</li> </ul>
	19 防災体制の充実  【目的】 地域の防災力を高める。	<p>例年、3か所の避難所運営委員会で、年1回、地域住民の参加を呼びかけ、消火訓練やAED訓練、ハイゼックス体験、マンホールトイレ体験等を内容とした防災訓練を実施し、防災意識の向上を図っているが、一つの避難所運営委員会で、あんしんケアセンター千葉寺、中央区機関相談支援センターの協力のもと、在宅酸素の住民の避難を想定し、HUG（避難所運営ゲーム）の勉強会を開催し、情報の共有を図るとともに、障害を持つ方の避難について、理解を深めた。</p>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 中央東地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<b>1 身近なコミュニティづくりの推進</b>	<b>2 支え合い活動の仕組みづくり</b> 【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。	・基本的には、個別のケースの支援については、町内自治会長、民生委員、あんしんケアセンターを通じて行っている。
	<b>4 災害時に支援を必要とする人の避難支援</b> 【目的】 災害時に機能するサポート体制を構築する。	避難所運営委員会（椿森中学校・院内小学校）を設立しているが、全員を収容することは不可能なので、安全確認出来たら在宅避難を推奨している。 防災訓練は、コロナ禍で規模縮小での実施や中止など、各自治会で判断している。
	<b>5 すべての子どもを地域で育てる</b> 【目的】 近所の子どもと顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。	・学校登下校の見守りは、セーフティウォッチャーの方々や、わくわくキャンパスの従事者が活動している。 ・子ども会活動の運営資金確保のため、廃品回収は継続して行っている。 ・民生委員が、椿森中学校のパトロールを継続して行っている。 ・地区部会では、年6回の「ちびっこ広場」を実施しているが、コロナ感染防止のため、すべて中止とした。
<b>2 交流の場と仲間づくり</b>	<b>6 ふれあい・いきいきサロンの充実</b> 【目的】 身近な所で、つどい、交流する場所と機会を拡充する。	・地区部会では、いきいきサロンを3会場（各会場で年4回）で実施しているが、コロナ感染防止のため、すべて中止とした。
	<b>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</b> 【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。	・地区部会主催「社協まつり」で子ども向けコーナーを設け、併せてボランティアとして椿森中学校生徒が会場案内等に協力しているが、感染防止のため中止した。 ・地域住民による院内小「わくわくキャンパス」での指導を行っている。 ・スポーツ振興会主催の「連合体育祭」や民生委員・児童委員主催の「子どもの広場」、子ども会主催の「かるた会」等、子ども達の参加する行事が行われているが、感染防止のため中止とした。



## 中央東地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進  【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内小学校の課外授業の際、交差点での見守り活動を行った。</li> </ul>
	11 世代間交流の場の提供  【目的】 誰もが、気軽に出入りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内自治会が、餅つき、盆踊り、体育祭など、誰もが参加できる行事を行っているが、コロナ禍のため、多くの行事が中止となった。</li> </ul>
3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会の見守り活動などの事業に、高齢者がボランティアとして参加している。</li> <li>・一部の老人クラブでは、公園の清掃活動を行っている。</li> </ul>
	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェハーモニーの障がい者の作品や物品の購入に協力している。</li> </ul>
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会のいきいきサロンで、あんしんケアセンターの健康講座などを実施している。</li> <li>・地区部会がシニアリーダー体操を実施している。</li> <li>・公民館がシニアリーダー体操や健康体操を実施している。</li> </ul> ※ 何れもコロナ禍により中止とした。

## 中央東地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実 【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員や町内自治会長が対応している。</li> </ul>
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用 【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会の広報誌は、年4回発行している。</li> </ul>
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進 【目的】 地域で福祉の心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくキャンパスで民生委員や地域住民が協力している。</li> <li>・社協まつりでボランティアとして椿森中学校生徒が会場案内等に従事しており、福祉の心を育む絶好の機会と考えているが、感染防止のため中止とした。</li> </ul>
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進 【目的】 地域を住民自ら守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内自治会で防犯パトロールを実施している。</li> <li>・移動交番が、椿森公園に開設されている。</li> <li>・「こども110番のいえ」や「セーフティウォッチャー」に地域住民が協力している。</li> </ul>
	19 防災体制の充実 【目的】 地域の防災力を高める。	避難所運営委員会は、椿森中学校、院内小学校と活動はそれぞれに行っているが、防災訓練、避難訓練は自粛した。

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 東千葉地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>1 身近なコミュニティづくりの推進</p>	<p>1 地域支えあい連絡会の設置・推進</p> <p>【目的】 地域課題の解決に向け、関係団体の連携・協力を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関係団体が参加する東千葉地区「地域づくり懇談会」において、地域課題について協議し、課題の共有が進んでいる。</li> <li>・各町内自治会長が地区部会役員となっており、年3回の理事会を通じて町内自治会と地域情報の共有を図っている。</li> <li>・地区部会の「ちょっとボランティア」と地域の助け合いグループ「東千葉ハッピータウンの会」を統合し、令和2年より「ハピボラ千葉」としてスタート。月1回定例会を実施。</li> <li>・地域住民、千葉大学、千葉市が連携し、地域課題について話し合い、解決に向けた取り組みを行っている「東千葉 和・輪・環の会」の活動を通じて、地域の関係団体の連携が深まっている。</li> <li>・地区部会と「東千葉 和・輪・環の会」が共催した「七夕のつどい」「サマーイベント」「ハロウィン・パーティ」の際は、小学校がチラシの配布や参加申込の取りまとめに協力してくれるが、コロナのため中止。</li> </ul>
	<p>5 すべての子どもを地域で育てる</p> <p>【目的】 近所の子どもと顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンを月1回実施しているが、コロナで中止。</li> <li>・例年、「社協ふれ愛まつり」において、都賀中学校・千草台東小学校を通じて、生徒がボランティアとして活動しているが、子どものボランティア募集は行わなかった。</li> <li>・千草台東小学校の授業の一環として全学年対象に「菜の花サロン」を年6回開催しているが、コロナのため、1回をオンラインで開催した。</li> <li>・平成28年度から、「東千葉 和・輪・環の会」が「あいさつ運動」（毎日）を行っている。</li> <li>・「セーフティウォッチャー」や「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。 また、毎週月曜日午後3時から5時まで、「あいさつ防犯パトロール」を挨拶ロード記念イベントより継続している。</li> <li>・地区部会と「東千葉 和・輪・環の会」が共催した「ハロウィン・パーティ」の際、子ども達がお菓子をもらいに行く家として、地域の約30世帯が協力してくれているが、コロナで中止。</li> <li>・学区が3区にまたがっているため、地域行事のチラシ等は学校を通じて配布しており、区をまたがって参加者を受入れているが、子どもとの多世代交流は中止しているため、配布の実施は行わなかった。</li> <li>・有志による防犯パトロールに子どもが参加している。</li> <li>・有志の方が、夏休みにラジオ体操を始め、子どもが参加しているが、コロナで中止。</li> </ul>

## 東千葉地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>2 交流の場と仲間づくり</p>	<p>6 ふれあい・いきいきサロンの充実</p> <p>【目的】 身近な所で、つどい、交流する場所と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニティサロン」（名画鑑賞、歌）を隔月で実施している。</li> <li>・「菜の花サロン」（千草台東小学校の授業の一環として、全学年対象に高齢者との交流会）を年6回実施しているが、コロナのため、12月にオンラインで1回実施した。</li> <li>・「元気カフェ」（脳トレ、体操、音楽療法）を週1回実施している。</li> <li>・住民、千葉大学、千葉市が連携して設立した『東千葉 和・輪・環の会』が、「えんがわサロン」（茶話会）を週1回実施している。</li> </ul>
	<p>7 地域での健康づくり支援の充実</p> <p>【目的】 介護予防、ひきこもりの防止を兼ねた交流の場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノルディックウォークを週2回実施している。</li> <li>・「菜の花サロン」のグラウンドゴルフで小学生との交流を実施し、その中で同好会の協力を得ているが、コロナのため、中止。</li> <li>・「元気カフェ」（脳トレ、体操、音楽療法）を週1回実施している。</li> </ul>
	<p>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「菜の花サロン」で昔遊び、戦争体験者とのふれあい、グラウンドゴルフなどで小学生との交流を実施しているが、オンラインで1回実施した。</li> <li>・学区が3区にまたがため、青少年育成委員会との連携が困難。</li> <li>・学校、PTAの活動において、地区部会が協力可能な事業ならば協力しているが、コロナのため未実施。</li> </ul>
	<p>9 子育てサロンの充実</p> <p>【目的】 子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンを毎月（12回）実施しているが、コロナのため中止。</li> <li>・児童母子福祉委員会と地域保健推進員が中心となって、活動（ソフト面）について創意工夫しながら活動しているが、コロナのため中止。地域保健推進員がいなくなり、対象者の把握が困難な状況である。</li> </ul>

## 東千葉地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進  【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年「まあるい広場まつり」に参加し、社会参加支援を実施している。</li> <li>・「社協ふれ愛まつり」や「山部まつり」に、「オリーブハウス」や「ジョブ作草部」の販売ブースを設置しているが、コロナのため「山部まつり」は中止。</li> <li>・地域の行事や会合の際、「カフェ・ハーモニー」の弁当を注文するようにしているが、行事が中止となったため、未実施。</li> </ul>
	11 世代間交流の場の提供  【目的】 誰もが、気軽に出入りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「菜の花サロン」（千草台東小学校の授業の一環として、全学年対象に高齢者との交流会）を年6回実施しているが、コロナのため、12月にオンラインで1回実施した。</li> <li>・「社協ふれ愛まつり」や「山部まつり」等、誰でも参加できるイベントで交流を図っているが、コロナのため「山部まつり」は中止。</li> </ul>
3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会の各種事業や『東千葉 和・輪・環の会』等の住民組織により、活動の場が増えてきている。</li> <li>・『東千葉 和・輪・環の会』が週1回実施している「えんがわサロン」（茶話会）では、参加者の特技（写真展、絵手紙、アートフラワー、着物のリメイク、天文学の講話、スマホ教室等）を生かす機会を提供している。</li> </ul>
	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	No.10と同事業  <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年「まあるい広場まつり」に参加し、社会参加支援を実施している。</li> <li>・「社協ふれ愛まつり」や「山部まつり」に、「オリーブハウス」や「ジョブ作草部」の販売ブースを設置しているが、コロナのため「山部まつり」は中止、。</li> <li>・地域の行事や会合の際、「カフェ・ハーモニー」の弁当を注文するようにしているが、行事が中止となったため、未実施。</li> </ul>
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『東千葉 和・輪・環の会』が、年5回、認知症や介護保険、在宅医療などのテーマを設け、講習会を実施している。</li> <li>・東千葉防災懇話会「くるま座の会」が連協の組織として位置づけられた。また、市や区職員を講師として防災についての研修を年2回実施しているが、コロナのため中止。</li> </ul>

## 東千葉地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実  【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内で問い合わせがあれば、個別に地区部会役員や民生委員が対応している。</li> <li>・『東千葉 和・輪・環の会』が、あんしんケアセンター東千葉の協力を得て、第3水曜日の14:00～16:00に、住民を対象とした相談会を実施している。座談会形式で地域課題を話し合ったり、相談ブースを設け、あんしんケアセンター職員に個別相談にのっていただいている。</li> <li>・R2年度にスタートした「ハッピーボランティア東千葉」で「ちょっと困った事の相談」の☎受付をしている。</li> </ul>
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用  【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社協だより」を年2回発行している。また、「行事案内」は毎月発行している。</li> <li>・『東千葉 和・輪・環の会』が発行している「タウンだより」に、住民の“お国自慢”や“わが街のお達者さん”を掲載している。また、新住民の自己紹介コーナーを設け、こうした記事をきっかけに、住民の輪が広がり、人材の発掘にも繋がっている。</li> </ul>
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進  【目的】 地域で福祉の心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社協ふれ愛まつり」において、都賀中学校・千草台東小学校を通じて生徒がボランティアとして活動しているが、コロナのため募集せず。</li> <li>・「菜の花サロン」（千草台東小学校の授業の一環として、全学年対象に高齢者との交流会）を年6回実施しているが、コロナのため、12月にオンラインで1回実施した。</li> <li>・『東千葉 和・輪・環の会』が、年5回、認知症や介護保険、在宅医療などのテーマを設け、講習会を実施しているが、コロナのため未実施。</li> <li>・東千葉防災懇話会「くるま座の会」で市や区職員を講師として防災についての研修を、年2回実施しているが、コロナのため中止。</li> </ul>
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進  【目的】 地域を住民自ら守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民有志が防犯パトロールを、週2回（夜と月曜）行っている。</li> <li>・「こども110番の家」に地域住民が協力している。</li> </ul>
	19 防災体制の充実  【目的】 地域の防災力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内自治会合同の防災訓練は雨天中止となったが、町内自治会単位の防災訓練は実施している。</li> <li>・東千葉防災懇話会「くるま座の会」で市や区職員を講師として防災についての研修を、年2回実施しているが、コロナのため中止。</li> <li>・災害時避難マップは配布してある。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 西千葉地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>1 身近なコミュニティづくりの推進</p>	<p>1 地域支えあい連絡会の設置・推進</p> <p>【目的】 地域課題の解決に向け、関係団体の連携・協力を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会の役員に、町内自治会長や民生委員児童委員に就任いただいております。隔月に実施している役員会において、地域の情報交換を行っている。</li> <li>・地域でイベントがある場合は、実行委員会として各団体が集まって協力している。</li> <li>・特別養護老人ホーム新千葉一倫荘が、町内自治会長や民生委員、福祉活動推進員に参加してもらい、地域の困りごとについて意見交換する連絡会を行っている。</li> </ul>
	<p>2 支え合い活動の仕組みづくり</p> <p>【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5つの老人クラブや見守り協力員の方々が、地域で困っている方のゴミ出しや自宅前の掃除などのお手伝いを無償で行っている。また町内の清掃も行っている。</li> <li>・地域のイベント等で協力依頼がある場合は、民生委員または各町内自治会で協力者を募っている。</li> </ul>
	<p>5 すべての子どもを地域で育てる</p> <p>【目的】 近所の子どもと顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登戸小学校へ登録した町内自治会（住民）と民生委員がセーフティーウォッチャーとして登下校時に児童を見守っている。</li> <li>・PTAが、給食や学校行事にセーフティウォッチャー登録者を招待し、児童との交流を図っているがコロナの為中止。</li> <li>・地区部会と育成委員会が協力して、「子ども110番の家」の既存協力者宅の確認と新規協力者宅の増設に努めている。</li> <li>・老人クラブが、登戸幼稚園の園児と毎年、公園の花植えや水やり、花壇の清掃などを行っている。</li> <li>・町内自治会主体で、「ごみゼロの日」に小学生と自治会と一緒に各公園の清掃活動を実施している。子ども会も同様の活動を行っている。</li> <li>・登戸1丁目自治会が、子ども達の健全育成や地域住民との交流を図る場として、地域食堂を令和元年度から行っている。</li> <li>・登戸小学校、緑町小学校では、PTAが主体となって「わくわくキャンパス」を実施している。また、1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動に、地域の方が参加し協力している（コロナの為中止）。</li> <li>・登渡神社の子ども神輿や育成委員会主催の納涼まつり等の地域行事を開催し、子ども達と顔見知りになる機会を設けている（コロナの為中止）。</li> </ul>

## 西千葉地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p>6 ふれあい・いきいきサロンの充実</p> <p>【目的】 身近な所で、つどい、交流する場所と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6町内自治会が、「高齢者対象サロン」を定期的開催している。</li> <li>・ 5つの老人クラブが、グラウンドゴルフ、折り紙、麻雀、映画会、歌等、高齢者が集う催しを定期的開催している。</li> </ul>
	<p>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登戸小学校、緑町小学校では、PTAが主体となって「わくわくキャンパス」を実施している。また、1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動に、地域の方が参加し協力している。</li> <li>・ 登渡神楽囃子連が、わくわくキャンパスで、お囃子を教えている。</li> <li>・ 5つの老人クラブが、登戸幼稚園の園児と毎年、公園の花植えや水やり、花壇の清掃などを行っている。</li> <li>・ 町内自治会主体で、「ごみゼロの日」に小学生と自治会と一緒に各公園の清掃活動を実施している。子ども会も同様の活動を行っている。</li> <li>・ バレーボールやバドミントンの愛好会が毎週練習しており、スポーツ振興会のバレーボール大会、バドミントン大会に参加している。また、スポーツ振興会ではミニ運動会を開催している（コロナで中止）。</li> <li>・ 子ども会では綱引き大会やラジオ体操を行っている。</li> </ul>
	<p>9 子育てサロンの充実</p> <p>【目的】 子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「よいこの広場」 0歳から3歳前後の子どもとその保護者 年10回 登戸1丁目自治会館で開催した。</li> <li>・ 「ぴよんぴよんクラブ」 3歳以上の子どもと保護者 年10回 西登戸会館で開催した。</li> </ul>
	<p>10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進</p> <p>【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントを開催するにあたり、健常者と障がい者の区別なく対応するよう心掛けている。</li> <li>・ 障がい者の理解を図るための研修会を開催した。</li> </ul>
3 社会参加の推進	<p>12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進</p> <p>【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区部会が実施している「見守り活動」「ふれあいミニバザー」等の各種事業に、高齢者がボランティアとして参加している。</li> <li>・ 5つの老人クラブや見守り協力員が、地域で困っている方のゴミ出しや自宅前の掃除などのお手伝いを無償で行っている。また町内の清掃も行っている。</li> <li>・ 公園の植木の手入れや管理を高齢者が行っている。</li> </ul>



## 西千葉地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
3 社会参加の推進	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	No.10と同様。 ・ イベントを開催するにあたり、健常者と障がい者の区別なく対応するよう心掛けている。 ・ 障がい者の理解を図るための研修会を開催した。
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実  【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	・ 地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員や町内自治会役員が対応している。見守り協力員から民生委員に相談が繋がる仕組みもできている。 ・ 三和会館及び西登戸会館では、週のうち数日、町内自治会関係者が常駐し、開館対応と案内対応を行っている。
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用  【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	・ 現在は「ふくし・防災ガイド&マップ」を活用している。 ・ 各町内自治会で、地域の福祉マップを作成している。 ・ 地区部会のネットワーク委員会が社協だよりを年1回作成・発行し、地区部会活動のお知らせや活動報告を住民へ周知している。A4版カラー印刷で6,500部作成し、全戸に配布した。
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進  【目的】 地域で福祉の心を育む。	・ 老人クラブが登戸幼稚園の園児と毎年、公園の花植えや水やり、花壇の清掃などを行う活動や、町内自治会主体で「ごみゼロの日」に小学生と自治会と一緒に各公園の清掃を行う活動を通じ、児童に地域の一員として活動する機会を設けている。 ・ 小学校では、社会奉仕の日に各公園の清掃を行っており、老人クラブと一緒に活動している。 ・ 登戸小学校、緑町小学校では、PTAが主体となって「わくわくキャンパス」を実施している。また、1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動（コロナの為中止）に、地域の方が参加し協力している。 ・ 地区部会が、「防災教室」を年1回の開催を予定していたが、コロナの影響で中止となった。また、「介護予防教室」を年2回、開催を予定していたが、高齢者を対象に千葉市中央介護専門学校の先生の協力を得て、健康体操冊子を作成し配布した。 ・ 各町内自治会でも、老人クラブと協力して、福祉講座を開催している。
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進  【目的】 地域を住民自ら守る。	・ 老人会、子ども会、町内自治会、育成委員会等が、地域パトロールを実施しており、そのなかで地域で見かけない人物を目撃した場合、顔を覚えるなどして防犯を行っている。 ・ 地区部会と育成委員会が協力して、「子ども110番の家」の既存協力者宅の確認と新規協力者宅の増設に努めている。 ・ 地域で「あいさつ運動」を実施している。 ・ 移動交番が、三和会館に開設されている。

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 中央地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>1 身近なコミュニティづくりの推進</p>	<p>1 地域支えあい連絡会の設置・推進</p> <p>【目的】 地域課題の解決に向け、関係団体の連携・協力を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会としては、未実施。</li> <li>・町内自治会や民生委員、育成委員会、子ども会等、地域の関係団体が地区部会に関わっており、地区部会の会合等で連携を図っている。</li> </ul>
	<p>2 支え合い活動の仕組みづくり</p> <p>【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会としてボランティア登録、拠点づくりは検討していない。</li> <li>・地域内の個別ニーズについては、主に地区民生委員が対応している。</li> </ul>
	<p>3 見守り体制をつくる</p> <p>【目的】 支援を必要とする人を日頃の付き合いの中で見守りながら、災害時に備える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6町内自治会中、2町内自治会で、75歳以上のひとり暮らし高齢者のうち見守りを希望する方を対象に、目配りによる見守りを実施している。</li> <li>・既に実施している町内自治会では、見守り希望者を再募集し、活動の充実を図った。</li> <li>・地区部会の役員会等で、未実施の町内自治会に対する働きかけは、継続して実施している。</li> </ul>
	<p>4 災害時に支援を必要とする人の避難支援</p> <p>【目的】 災害時に機能するサポート体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内自治会ごとに防災訓練は実施しているが、地区によって温度差がある。</li> <li>・避難所運営委員会の設立について協議を重ね、平成30年1月21日付で弁天小学校で避難所運営委員会が設立し、避難所運営マニュアルを作成した。</li> <li>・弁天町会は、千葉県避難行動要支援者名簿を申請した。</li> </ul>
<p>2 交流の場と仲間づくり</p>	<p>7 地域での健康づくり支援の充実</p> <p>【目的】 介護予防、ひきこもりの防止を兼ねた交流の場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内自治会の老人クラブやサークル等でカラオケやグラウンドゴルフを行っているがコロナの影響により、集会のみ行った。</li> <li>・千葉パーク友の会が、千葉公園運動広場で、毎朝、健康体操を行っている。</li> </ul>

## 中央地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弁天小学校の「わくわくキャンパス」（毎週木曜日、15:00～16:00）に地区部会も協力しており、ソフトボール、バスケット、マット遊び等、児童と一緒に遊んだり、見守ったりしているが、コロナの影響により、中止。（年間25回程度）</li> <li>・ 地区部会と生涯学習センターが共催し、「夏休み親子お楽しみ会」を開催し、児童向けの映画鑑賞、歌や踊りを通して、児童の情操を養うとともに地域の連携を深めた。</li> </ul>
	<p>9 子育てサロンの充実</p> <p>【目的】 子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区部会が、例年、月1回、子育て中の親子を対象に、親同士の情報交換や栄養士・歯科衛生士からのお話し、紙芝居、親子体操、クリスマス飾り作り等を内容とした子育てサロンを実施しているが、コロナの影響により、4回の実施となった。</li> </ul>
	<p>10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進</p> <p>【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区部会が実施している「社協まつり」でカフェ・ハーモニーの販売ブースを設置しているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・ オリーブ玄鼻福祉作業所の地域交流会に参加し、軽作業補助や物品販売を手伝っているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・ 「でい・さくさべ」の秋祭りの準備を手伝っているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・ カフェ・ハーモニー主催の絵手紙講座の手伝いや、クリスマスコンサートの広報（地域でのチラシの配布）に協力しているほか、行事に積極的に参加し、賛助会員の加入を促進した。また、老人クラブが、月2回の定例会の後、カフェ・ハーモニーで食事をし、売上に貢献している。</li> </ul>
	<p>11 世代間交流の場の提供</p> <p>【目的】 誰もが、気軽に出入りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区部会が「社協まつり」を実施しており、誰もが集える地域行事で世代間交流を図っているが、コロナの影響により、中止。</li> </ul>
3 社会参加の推進	<p>12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進</p> <p>【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区部会が実施している各種事業に高齢者がボランティアとして参加しているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・ 防犯パトロールは、高齢者が中心に行っている。</li> </ul>

## 中央地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
3 社会参加の推進	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会が実施している「社協まつり」でカフェ・ハーモニーの販売ブースを設置しているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・オリーブ亥鼻福祉作業所の地域交流会に参加し、軽作業補助や物品販売を手伝っているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・「でい・さくさべ」の秋祭りの準備を手伝っているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・カフェ・ハーモニー主催の絵手紙講座の手伝いや、クリスマスコンサートの広報（地域でのチラシの配布）に協力しているほか、行事に積極的に参加し、賛助会員の加入を促進した。また、老人クラブが、月2回の定例会の後、カフェ・ハーモニーで食事をし、売上に貢献している。</li> </ul>
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会が、「認知症予防講座」等を実施しているが、コロナの影響により、中止。</li> </ul>
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実  【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会としては未実施。</li> <li>・町内自治会役員、民生委員が個別に対応している。</li> </ul>
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用  【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中央区ふくし・防災ガイド&amp;マップ」を町内自治会を通じて配布した。</li> <li>・年3回社協だよりを発行している。</li> </ul>
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進  【目的】 地域で福祉の心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁天小学校の「わくわくキャンパス」（毎週木曜日、15:00～16:00）に地区部会も協力しており、ソフトボール、バスケット、マット遊び等、児童と一緒に遊んだり、見守ったりしているが、コロナの影響により、中止。（年間25回程度）</li> <li>・「社協まつり」において、地域の子供たち自ら、イベントブースの手伝いを行っており、手伝いを通して福祉教育の一環となっており、また、同イベントにおいて実行委員会（地区部会、PTA、各子ども会、各町内自治会）を立ち上げ、地域全体の協力を得ながら開催しているが、コロナの影響により、中止。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 新宿地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>1 身近なコミュニティづくりの推進</p>	<p>1 地域支えあい連絡会の設置・推進</p> <p>【目的】 地域課題の解決に向け、関係団体の連携・協力を深める。</p>	<p>・地区部会が核となり、民生委員、町内自治会、あんしんケアセンターが参加する役員会（2ヶ月に1回）などでネットワーク作りを行い、各団体の情報を共有している。</p>
	<p>2 支え合い活動の仕組みづくり</p> <p>【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。</p>	<p>・拠点を設けての活動は行っていないが、民生委員が個別に対応している。</p> <p>・見守り活動や支え合い活動に対する住民の意識を把握するため、あんしんケアセンターと連携し「地域のたすけあい活動に関するアンケート」を実施した。</p>
<p>2 交流の場と仲間づくり</p>	<p>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<p>・スポーツ振興会で、グラウンドゴルフ、ソフトボール、綱引きを実施しているが、コロナ禍でグラウンドゴルフのみ実施。</p> <p>・「わくわくキャンパス」での指導協力（ソフトボール、裁縫教室）をしているが、コロナの影響により、中止。</p> <p>・新宿小学校が1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動に、地域の方が参加し協力しているが、コロナの影響により、中止。</p>
	<p>9 子育てサロンの充実</p> <p>【目的】 子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充する。</p>	<p>・地区部会では、幼少期の子どもを持つ親の負担を軽減するため、新宿公民館で「ベビーマッサージ」を年2回開催し、子育て中の親の育児相談を行っているが、コロナの影響により、中止。</p> <p>・新宿保育所内の地域子育て支援センター「にこにこルーム」や神明保育所の地域交流会にボランティアとして参加した。</p> <p>・老人クラブが、保育所からの依頼を受け、昔遊びや折り紙を指導しているが、コロナの影響により、中止。</p>
	<p>11 世代間交流の場の提供</p> <p>【目的】 誰もが、気軽に出入りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。</p>	<p>・各町内自治会での盆踊りや花見等、誰でも参加できる地域行事を実施し、住民の交流を図っているが、コロナの影響により、中止。</p>

## 新宿地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区部会や町内自治会の事業の運営に高齢者が参加している。</li> <li>・ 老人会が神社の清掃を行っている。</li> <li>・ 月2回の新宿公園の清掃活動に高齢者が参加している。</li> </ul>
	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントの広報は障害の有無に関わらず、地域住民に回覧で広報している。</li> </ul>
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実  【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員や町内自治会が、地域の方々の個別の相談に応じ、対応が困難なケースについては、専門機関の情報を提供している。</li> <li>・ 隔月に実施する地区部会の役員会において、地域の関係団体の情報共有を図っている。役員会には、あんしんケアセンターに毎回参加いただき、あんしんケアセンターとも情報を共有するとともに、高齢者に関する相談が気軽にできる関係性の構築に努めている。</li> </ul>
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用  【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌を年2回発行している。</li> <li>・ 各町内自治会で防災マップを作成している。</li> </ul>
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進  【目的】 地域で福祉の心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「わくわくキャンパス」での指導協力（ソフトボール、裁縫教室）をしているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・ 新宿小学校が1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動に、地域の方が参加し協力しているが、コロナの影響により、中止。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 蘇我地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
1 身近なコミュニティづくりの推進	2 支え合い活動の仕組みづくり 【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。	・地域の個別ニーズに対しては、主に地区民生委員や地区部会が対応している。
	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援 【目的】 災害時に機能するサポート体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内4か所の避難所すべてに「避難所運営委員会」が設立されており、各避難所運営委員会が、九都県市防災訓練の実施日に合わせ、避難所の設備・備品の点検等を行った。訓練の際は、福祉的配慮を必要とする人をケアする内容を加え改定した避難所運営マニュアルを活用するとともに、マニュアルの修正が必要な箇所を改正した。</li> <li>・千葉工業高校と5町会が共同し、地域住民や高校生、蘇我保育所、ローゼンそが保育園が参加し、消火器、炊き出し、AED等の防災訓練を予定していたが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・地区部会として、来年度、災害時に備えた炊き出し訓練を予定している。</li> </ul>
2 交流の場と仲間づくり	8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進 【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わくわくキャンパス」に地域の全関係者が加わり活動しているが、コロナの再拡大のため中止した。</li> <li>・子ども会が中心となり、映画鑑賞会や夏休みお楽しみ会を開催しているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・蘇我小学校や「ローゼンそが保育園」、「そがチャイルドハウス」の昔遊びのゲストティーチャーとして地区部会役員が活動しているが、コロナの影響により、中止。</li> </ul>
	9 子育てサロンの充実 【目的】 子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充する。	・子育てサロンを年10回実施しているが、コロナの影響により、中止。
	10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進 【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニティまつり」でオリーブハウスの販売ブースを設置しているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・地区部会、町内自治会のイベントでは健常者、障がい者を問わず、誰でも気軽に参加できるようPRに努めている。</li> <li>・福祉的配慮を必要とする人をケアする内容を加え改定した避難所運営マニュアルを各訓練で活用するとともに、マニュアルの修正が必要な箇所を改正した。</li> <li>・避難所運営委員会では、女性の委員を増やすとともに、障がい者や外国人にも委員としての参加を呼びかけており、一部の避難所運営委員会では障がい者や外国人が委員として参加するようになったが、コロナの影響により、中止。</li> </ul>

## 蘇我地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	11 世代間交流の場の提供  【目的】 誰もが、気軽に出入りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域内の町内自治会が盆踊り等の各種イベントを開催しているが、コロナの影響により、中止。</li> </ul>
3 社会参加の推進	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	No.10と同様。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニティまつり」でオリーブハウスの販売ブースを設置しているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・地区部会、町内自治会のイベントでは健常者、障がい者を問わず、誰でも気軽に参加できるようPRに努めている。</li> <li>・福祉的配慮を必要とする人をケアする内容を加え改定した避難所運営マニュアルを各訓練で活用するとともに、マニュアルの修正が必要な箇所を改正した。</li> <li>・避難所運営委員会では、女性の委員を増やすとともに、障がい者や外国人にも委員としての参加を呼びかけており、一部の避難所運営委員会では障がい者や外国人が委員として参加するようになったが、コロナの影響により、中止。</li> </ul>
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会が、健康促進に関する講座（1回）や食育に関する講座（1回）を予定していたが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・いきいきサロンでも、健康体操などのメニューを取り入れているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・介護付有料老人ホーム「そんぽの家 蘇我」が、高齢者向けの健康体操教室を2回予定していたが、コロナの影響により、中止。</li> </ul>
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実  【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員や町内自治会長が対応している。</li> <li>・各町内自治会からの要望や相談については、「地域ケア会議」や「学校運営評議員会」を通して、情報を共有し対応策を検討する。</li> </ul>
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用  【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全町内自治会で「防災マップ（危険箇所マップ）」を作成している。</li> <li>・年2回社協だよりを発行している。</li> <li>・昨年度、蘇我中学校区の小・中学生と一緒に作成した「蘇我子どもマップ（子どもの目からみた安全マップ）」の内容を更新した。</li> </ul>



## 蘇我地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>6 福祉教育の推進</p>	<p>17 地域での福祉教育の推進</p> <p>【目的】 地域で福祉の心を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の見守りに対する意識の向上を図るため、地域の関係団体と連携して実施した「地域見守り活動～オレンジフェスティバル」には、淑徳大学の学生も参加を予定していたが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・ 月2回の「わくわくキャンパス」に地域の全関係者が加わり活動しているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・ 「ローゼンそが保育園」や「そがチャイルドハウス」の昔遊びのゲストティーチャーとして地区部会役員が活動している。</li> <li>・ 主任児童委員が中心となり、蘇我小学校に週1回出向き、「本の読み聞かせ」を全学年対象に実施しているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・ 青少年育成委員会で、地区の歴史散歩を毎年場所を変えて実施し、地域の歴史を理解し、地域を好きになってもらう事業を実施している。</li> <li>・ 蘇我中学校1年生を対象に、「子どもによる子どものための子どもの権利条約」の読書の勧めと感想文募集を継続実施し、全員の感想文が寄せられている。</li> <li>・ 地区部会が、健康促進に関する講座（1回）や食育に関する講座（1回）を予定していたが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・ いきいきサロンでも、健康体操などのメニューを取り入れているが、コロナの影響により、中止。</li> <li>・ 子ども会では、地域リーダーを養成するための講習会を開催している。受講者の中には成人後も子ども会行事を手伝っている人もいる。</li> </ul>
<p>7 人にやさしい生活環境づくり</p>	<p>19 防災体制の充実</p> <p>【目的】 地域の防災力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各町内自治会の自主防災会でそれぞれ活動している。</li> <li>・ 第9地区連で10か所の避難所で運営組織を立ち上げ、各避難所の特性を考慮したマニュアルを作成し、地域の実情に合わせた運営ができるような体制をつくっている。</li> <li>・ 千葉工業高校を会場として、5町会による防災訓練を開催している。訓練には、生徒や教員、地域住民が参加している。</li> <li>・ 地域運営委員会が、必要に応じ、防災講座を開催している。</li> <li>・ 地区内4か所の避難所すべてに「避難所運営委員会」が設立されており、各避難所運営委員会が、九都県市防災訓練の実施日に合わせ、避難所の設備・備品の点検等を行った。</li> <li>・ 地区部会として、来年度、災害時に備えた炊き出し訓練を予定している。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 白旗台地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p>10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進</p> <p>【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者対応としては、避難所訓練や地区部会「ふれあいひろば」等の地域行事への参加を予定していたが、コロナ問題で実施できなかった。</li> <li>・それでも避難所の運営委員については女性委員の比率が高まり、また障がい者や外国人が委員になって交流を深められるような避難所が増えてきた。</li> </ul>
	<p>11 世代間交流の場の提供</p> <p>【目的】 誰もが、気軽に入出りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンを少しずつ開催し、参加親子も少しずつ増えつつあった。この中で高齢者スタッフとの交流は今まで以上に進めることができた。</li> <li>・盆踊りや社協まつり等は中止せざるを得なかった。</li> </ul>
3 社会参加の推進	<p>12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進</p> <p>【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会が実施している各種事業に高齢者がボランティアとして参加している。</li> <li>・地域で活動している老人クラブやサークルの福祉施設への慰問は福祉施設のコロナ対策で実施できなかった。</li> <li>・全体的に見守り等の支援者として高齢者の活躍は増加してきた。</li> </ul>

# 白旗台地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>3 社会参加の推進</p>	<p>13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進</p> <p>【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい広場や障がい者も参加する避難訓練は実施できなかったが、避難所運営委員に障がい者が入るケースも認められ活動の範囲が広がりつつある。</li> <li>・コロナ禍での障がい者の避難に不安を持つ方も多く、問い合わせや話し合いの場を持つケースも数件認められた。</li> </ul>
<p>5 相談体制、情報提供の場づくり</p>	<p>15 相談体制・情報提供の充実</p> <p>【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前作成した、地域に密着した情報を掲載している福祉マップを一部ではあるが活用している。</li> <li>・地区部会役員や町内自治会役員・民生委員が個別に対応しているが、こうしたコロナ禍で民生委員に対する相談は増加しつつあり、通常以上に活躍をしてきた。</li> <li>・情報の管理・共有化も少しずつレベルアップしてきた。</li> </ul>
	<p>16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&amp;マップ」の活用</p> <p>【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協だよりを年1回発行している。</li> <li>・「中央区ふくし・防災ガイド&amp;マップ」については3年ごとの更新年にあたったが、こういう時期で延期された。</li> <li>・地区部会の地域支え合い活動「きずな隊」の活動については、社協だよりでPRするとともに町内自治会長が交替した町内自治会にも周知を再度図った。</li> </ul>
<p>6 福祉教育の推進</p>	<p>17 地域での福祉教育の推進</p> <p>【目的】 地域で福祉の心を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会の各委員会ごとにテーマを持った講座を年3回開催した。</li> <li>・蘇我中学校1年生を対象に、「子どもによる子どものための子どもの権利条約」の読書の勧めと感想文募集を継続実施し、ほぼ全員の感想文が寄せられている。</li> <li>・青少年育成委員会で、地区の歴史散歩を毎年場所を変えて実施し、地域の歴史を理解し、地域を好きになってもらう事業を実施してきたが、令和3年度は実施を見合わせた。</li> <li>・地区内の1小学校（大森小）で「放課後子ども教室」をコロナ禍で縮小して実施した。地域住民がボランティアとして協力している。他2校はコロナのため自粛した。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 生浜地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の福祉施設へボランティア活動を例年実施しているが、施設の受け入れが困難なため出来なかった。</li> <li>・地区部会や町内自治会等、地域団体の役員になっている高齢者は、地域行事でスタッフとして活動している。</li> <li>・「セーフティウォッチャー」に地域の高齢者が協力し、登下校時の児童の見守りに取り組んでいる。</li> </ul>
	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事に障害者施設（ハピネス浜野等）の職員が利用者を連れてきているが、地域行事（お祭り等）が中止となったため、できなかった。</li> </ul>
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「交通安全教室」「車椅子体験講座」を実施しているが、コロナの影響により中止したため、取り組めなかった。</li> </ul>
5 相談体制、情報提供の場づくり	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用  【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉に関する情報を住民に提供する「地区部会だより」を年2回発行した。カラー印刷にし、紙面の充実を図った。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 松波地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>1 身近なコミュニティづくりの推進</p>	<p>1 地域支えあい連絡会の設置・推進</p> <p>【目的】 地域課題の解決に向け、関係団体の連携・協力を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民児協、町会長やスポーツ振興会など地区部会の役員となっており、横の連携はとれている。</li> <li>・年1回、商工振興会主催の「楽市」に地区部会が模擬店を出店協力をしている。町会主催の夏祭りにも協力している。(R3年度中止)</li> <li>・地域の大きな行事の際は、商工振興会、子ども会を含め、地域の関係団体が集まって打ち合わせを行っている。(R3年度中止)</li> </ul>
	<p>2 支え合い活動の仕組みづくり</p> <p>【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松波会館が地域の拠点となっており、10:00-15:00事務ボランティアが常駐し対応している。</li> <li>・町会有志で「お助けマンクラブ」として草取り、剪定、ゴミだし作業のサービスをしている。</li> </ul>
	<p>3 見守り体制をつくる</p> <p>【目的】 支援を必要とする人を日頃の付き合いの中で見守りながら、災害時に備える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年1月に「松波見守り隊」発足。現在も継続して活動している。</li> </ul>
	<p>4 災害時に支援を必要とする人の避難支援</p> <p>【目的】 災害時に機能するサポート体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会防犯防災部が中心となり年末の夜警実施。</li> <li>・毎年、松波自主防災会主催「防災訓練」を実施し、地区部会、消防団、民生委員・児童委員が協力して訓練を実施した。(R3年度は、町会理事のみの訓練に縮小)</li> <li>・千葉商業高校の避難所運営委員会が、8月末に避難所開設訓練を行い、地区部会が協力した。</li> </ul>
	<p>5 すべての子どもを地域で育てる</p> <p>【目的】 近所の子どもと顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、町会主催「餅つき大会」や弥生小スポーツ振興会主催「地域運動会」に地区部会が協力事業として活動している。(R3年度中止)</li> <li>・民生委員や地区部会役員が中心となり毎朝、登校時に2か所で声かけを実施している。(弥生小セーフティーウォッチャー)</li> <li>・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。</li> </ul>

## 松波地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p><b>7 地域での健康づくり支援の充実</b></p> <p>【目的】 介護予防、ひきこもりの防止を兼ねた交流の場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会が「散歩クラブ」を月1回実施。地区部会役員の中に看護師が3名いるため、開催時には血圧測定を行い健康と安全管理に注意している。</li> <li>・弥生小スポーツ振興会がグラウンドゴルフを定期的に行っている。</li> </ul>
	<p><b>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</b></p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で開催している「夏祭り」で地区部会として模擬店を出店し、多くの子どもと触れ合っている。</li> <li>・年1回、商工振興会主催の「楽市」に地区部会が模擬店を出店し協力している。</li> <li>・毎年、町会主催「餅つき大会」や弥生小スポーツ振興会主催「地域運動会」に地区部会が協力事業として活動している。</li> </ul> <p>(※何れもR3年度中止)</p>
	<p><b>10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進</b></p> <p>【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。</p>	
	<p><b>11 世代間交流の場の提供</b></p> <p>【目的】 誰もが、気軽に出入りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生から高齢者まで交流を図るドッキングプレイスとして、「星を見る会」を例年実施。100名程度が参加。(R3年度中止)</li> </ul>
3 社会参加の推進	<p><b>12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進</b></p> <p>【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会有志の「お助けマンクラブ」など、地域の諸事業に高齢者が協力している。</li> <li>・グラウンドゴルフの参加者や地域の有志が、松波公園の落ち葉清掃を行っている。</li> </ul>

## 松波地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
3 社会参加の推進	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんしんケアセンターが認知症サポーター養成講座を実施した。</li> </ul>
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実  【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松波会館が地域の拠点となっており、10:00-15:00事務ボランティアが常駐しているため、内容により対応可能である。</li> <li>・相談があれば、地区部会もしくは町会を通して、可能であれば対応している。</li> <li>・民生委員・児童委員も個別で相談に対応している。</li> <li>・ホームページにより、地域情報を発信している。</li> </ul>
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進  【目的】 地域を住民自ら守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有志が月2回、夜間パトロールを行っている。</li> <li>・移動交番が月1~2回、松波会館駐車場で活動しており、町会、民生委員・児童委員、地区部会と情報交換している。警察から防犯に関する注意喚起の情報提供をいただいている。</li> <li>・平成25年度、消費生活センター「高齢消費者の二次被害防止モデル事業」として、松波及び弁天地区において“通話録音装置による悪質な電話勧誘の録音”の協力を行った。モデル事業に協力した一部の世帯は、現在も通話録音装置の設置を継続している。</li> <li>・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。</li> </ul>
	19 防災体制の充実  【目的】 地域の防災力を高める。	No.4と同様。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会防犯防災部が中心となり年末の夜警実施。</li> <li>・毎年、松波自主防災会主催「防災訓練」を実施し、地区部会、消防団、民生委員・児童委員が協力して訓練を実施した。(R3年度は、町会理事のみの訓練に縮小)</li> <li>・千葉商業高校の避難所運営委員会が、8月末に避難所開設訓練を行い、地区部会が協力した。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 松ヶ丘地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>1 身近なコミュニティづくりの推進</p>	<p>1 地域支えあい連絡会の設置・推進</p> <p>【目的】 地域課題の解決に向け、関係団体の連携・協力を深める。</p>	<p>平成27年5月に「松ヶ丘中学校地区地域運営委員会」が設立し、現在、地域の47団体が参加している。本委員会に4つの部会（円卓会議、地域問題検討部会、広報部会、ふるさとまつり部会。なお、ひだまり運営部会は平成28年度から独立した。）を設け、ホームページによる地域行事等の情報発信、ふるさとまつりの開催など、諸事業に取り組むとともに、円卓会議を月1回開催し、構成団体が、地区の課題や情報を共有した。特に重要な地域課題については、地域問題検討部会（年4回）において、地区の将来像や地域の実情に合った活動について話し合い、継続的、計画的な住民同士の「助けあい・支えあい」による地域運営に取り組んだ。地域の各団体の関係が密になり、地域の様々なイベントにおいて協力体制が整ってきており、効果が表れている。また、地区部会の会議や活動を通じて関係団体との連携を図っている。</p>
	<p>2 支え合い活動の仕組みづくり</p> <p>【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。</p>	<p>地区部会が、高齢者等を対象に、雑草取り、刈り込み、立木の一部伐採作業等をお手伝いし、ひとり暮らし高齢者等の生活の一部を支援した。 また、地区部会スタッフを中心とした「ひだまり運営委員会」が、住民が気軽に立ち寄れる地域の交流の場を運営した。</p>
	<p>4 災害時に支援を必要とする人の避難支援</p> <p>【目的】 災害時に機能するサポート体制を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の避難所4か所すべてに「避難所運営委員会」が設置されており、避難所運営委員会ごとに訓練を実施している。</li> <li>・自主防災・防犯の会が、地区全体の防災研修会や防災訓練を年2回以上実施している。</li> <li>・各町内自治会に自主防災会が組織されており、自主防災会ごとに年2回以上の訓練は実施している。</li> </ul>
<p>身近なコミュニティづくりの推進</p>	<p>5 すべての子どもを地域で育てる</p> <p>【目的】 近所の子どもの顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティーウォッチャーは、毎日の登下校時、町内自治会長を中心とした各町会（各町会5人程度）が協力している。</li> <li>・有志の方が、朝、あいさつ運動を実施している。</li> <li>・地区部会のネットワーク委員会が、月・水・金曜日の下校時、青色パトロール車1台で、地区内（主に裏通り）を巡回し、声かけを主体にパトロールしている。また、自主防災・防犯の会も青色パトロール車でパトロールを行っており、地区全体で10台の車両でパトロールを行っている。</li> <li>・「子ども110番のいえ」にも、地域の方（約180件）に協力いただいている。</li> <li>・PTA、地域と小学校が連携し、仁戸名小3年生が高齢者とグランドゴルフ、5年生が里山事業（田植え～稲刈り、竹の子掘り等）を実施している。</li> <li>また、仁戸名地区子ども育成連絡会が、グランドゴルフを実施している。</li> <li>・育成委員会と各種団体が連携し、「子どもの広場（年1回から2回に増加）」や「子ども夏まつり」、「新春マラソン大会」を実施し、また、松ヶ丘小・仁戸名小・松ヶ丘中・淑徳大学で昔あそびを教えている。</li> <li>・平成29年度から「子ども食堂」を開始した。月1回実施している。</li> <li>・平成31年度（令和元年度）から、活動拠点「ひだまり」で『どこでもこどもカフェ』を開設し、放課後の児童の健全育成や居場所の提供を図っている。</li> </ul>



## 松ヶ丘地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p>6 ふれあい・いきいきサロンの充実</p> <p>【目的】 身近な所で、つどい、交流する場所と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流の拠点として「ひだまり」を運営し、月～土曜日、役員が当番制で常駐。誰もがいつでも立ち寄り、地域住民の交流の場となっている。</li> <li>・いきいきサロン（高齢者福祉委員会）を年6回、3会場で開催している。また、活動拠点「ひだまり」にて『ゆうあいひろば』を月2回（祝日は休み）開催している。年々参加者が増加している。</li> <li>・活動拠点「ひだまり」で、『カラオケサロン（毎月第2・第4火曜日）』を開催し、地域住民の交流の機会を提供している。</li> </ul>
	<p>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA、地域と小学校が連携し、仁戸名小3年生が高齢者とグランドゴルフ、5年生が里山事業（田植え～稲刈り、竹の子掘り等）を実施している。 また、仁戸名地区子ども育成連絡会が、グランドゴルフを実施している。</li> <li>・育成委員会と各種団体が連携し、「子どもの広場（年1回から2回に増加）」や「子ども夏まつり」、「新春マラソン大会」を実施し、また、松ヶ丘小・仁戸名小・松ヶ丘中・淑徳大学で昔あそびを教えている。</li> </ul>
	<p>9 子育てサロンの充実</p> <p>【目的】 子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロン（児童母子福祉委員会）を年9回実施しているが、コロナ禍で、中止。毎年、淑徳大学看護栄養学部の協力を受け、幼児相談や母親相談を取り入れて活動しているが、今後も同学部と連携、協力し継続する。</li> </ul>
	<p>10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進</p> <p>【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会が、松ヶ丘小学校4年生を対象に、車いすバスケットボールの選手を講師に迎え、車いすバスケットの体験を予定していたが、コロナ禍で、中止。</li> <li>・今後も、小中学生を対象にした車いす体験を実施していく予定である。</li> </ul>
	<p>11 世代間交流の場の提供</p> <p>【目的】 誰もが、気軽に出入りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会スタッフを中心とした「ひだまり運営委員会」が、月曜日から土曜日の間、役員が当番制で開設し、誰もがいつでも立ち寄れる地域住民の交流の場を提供した。高齢者の交流を中心に、小、中学生の自習や友人との交流の場として利用されている。地域の各種団体の会議やイベント、親睦の場としても使用されており、他地区からの見学も増えている。</li> <li>・毎週金曜日の17：00～20：00に「大人の時間」を実施し、地域住民の交流の場を提供している。地域のことについて意見交換を行い、意思疎通を図っている。</li> </ul>

## 松ヶ丘地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<b>3 社会参加の推進</b>	<b>12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進</b>  <b>【目的】</b> 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が中心となり、都苑への施設見学や手伝いを行っている。</li> <li>・地域の高齢者が「お助け隊」のボランティアとなり、活動を行っている。また、地域行事には、高齢者がボランティアとして参加している。</li> </ul>
	<b>13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進</b>  <b>【目的】</b> 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	No.10と同様。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会が、松ヶ丘小学校4年生を対象に、車いすバスケットボールの選手を講師に迎え、車いすバスケットの体験を予定していたが、コロナ禍で、中止。</li> <li>・今後も、小中学生を対象にした車いす体験を実施していく予定である。</li> </ul>
<b>4 地域の福祉力向上、担い手づくり</b>	<b>14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供</b>  <b>【目的】</b> 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回、ボランティア委員会で講座を実施している。</li> <li>・淑徳大学看護栄養学部と連携し、「ひだまり」で月2回（第1・第3月曜日）、健康や栄養相談を実施している。</li> <li>・月1回開催している「淑徳オレンジカフェ」では、認知症に関する理解の普及に努めている。</li> </ul>
<b>5 相談体制、情報提供の場づくり</b>	<b>16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&amp;マップ」の活用</b>  <b>【目的】</b> 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回社協だよりを発行している。</li> <li>・「ひだまり」にも、市の便利帳や各種情報を掲載している冊子を置いている。</li> <li>・松ヶ丘小学校地区の町内自治会の「防災マップ」を作成している。</li> <li>・松ヶ丘中学校地区地域運営委員会が運用するホームページにより地域のイベントや出来事を掲載し、情報発信に努めた。</li> </ul>

## 松ヶ丘地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>6 福祉教育の推進</p>	<p>17 地域での福祉教育の推進</p> <p>【目的】 地域で福祉の心を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジュニアボランティア隊を結成し、各イベントの手伝いを行っている。</li> <li>・ 淑徳大学看護栄養学部の学生と高齢者との意見交換会を実施している。</li> <li>・ 地区部会が、淑徳大学看護栄養学部の学生に、看護実習などの際、高齢者とのコミュニケーション手段として役立ててもらうため、年1～2回、昔遊び等を教えている。</li> <li>・ 放課後子ども教室に地域住民が協力している。</li> <li>・ 松ヶ丘小3年生、仁戸名小5～6年生に地域の歴史や昔話を伝える授業に、地区部会が協力している。</li> <li>・ 松ヶ丘小学校が「まち探検」を行っており、地域の方が質問に答える等、協力している。</li> <li>・ 年2回、ボランティア委員会で講座を実施している。</li> <li>・ 松ヶ丘小の地域の様々なボランティアの話聞く授業に協力している。</li> <li>・ 淑徳大学看護栄養学部と連携し、「ひだまり」で月2回、健康や栄養相談を実施している。</li> <li>・ 月1回開催している「淑徳オレンジカフェ」では、認知症に関する理解の普及に努めている。</li> </ul>
<p>7 人にやさしい生活環境づくり</p>	<p>18 防犯対策の推進</p> <p>【目的】 地域を住民自ら守る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「まちの交番」として移動交番が月1回、「ひだまり」を利用している。</li> <li>・ 自主防災会が、青色パトロール車（10台）で毎週土曜日に巡回活動を行っている。</li> <li>・ 地区部会のネットワーク委員会が、月・水・金曜日の下校時、青色パトロール車1台で、地区内（主に裏通り）を巡回し、声かけを主体にパトロールしている。</li> <li>・ 「子ども110番のいえ」にも、地域の方（約180件）に協力いただいている。</li> </ul>
	<p>19 防災体制の充実</p> <p>【目的】 地域の防災力を高める。</p>	<p>No.4と同様。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区内の避難所4か所すべてに「避難所運営委員会」が設置されており、避難所運営委員会ごとに訓練を実施している。</li> <li>・ 自主防災・防犯の会が、地区全体の防災研修会や防災訓練を年2回以上実施している。</li> <li>・ 各町内自治会に自主防災会が組織されており、自主防災会ごとに年2回以上の訓練は実施している。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 川戸地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<b>1 身近なコミュニティづくりの推進</b>	<b>2 支え合い活動の仕組みづくり</b> 【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年4月から、地区部会が、高齢者や障がいのある方を対象に、簡易な草刈り、話し相手等、日常生活のちょっとした困りごと等の手伝いをする「お助け隊」を継続して実施した。</li> <li>・年3回行っている協力員の報告会は、コロナ禍で1回実施。利用券販売協力店に地域への周知をお願いし、活動実績を上げるよう努めている。</li> </ul>
	<b>4 災害時に支援を必要とする人の避難支援</b> 【目的】 災害時に機能するサポート体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の3か所の避難所すべてに避難所運営委員会があり、避難訓練を実施している。</li> <li>・町内自治会単位で防犯パトロールや防災訓練を実施している。</li> <li>・地区部会の災害時の支援としては、火災や災害の被害にあった方に対し、福祉バザー収益の積立金を活用した見舞金制度を設けている。</li> </ul>
	<b>5 すべての子どもを地域で育てる</b> 【目的】 近所の子どもと顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成委員会で実施している夏・冬年2回のパトロールに協力している。</li> <li>・子育てサロン「もーもークラブ」を年10回開催しているが、コロナ禍で4回実施した。</li> <li>・敬老会には、千葉南高校、川戸中学校、川戸小学校の児童・生徒や地域の各種団体が参加し、交流を図っているが、コロナの為に中止。</li> <li>・地域住民がセーフティウォッチャーに協力している。</li> <li>・放課後子ども教室に地域住民が協力している。</li> <li>・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。</li> </ul>
<b>2 交流の場と仲間づくり</b>	<b>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</b> 【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体が、運動会や菊見会、子ども会バザー、正月の凧揚げ等を実施しており、地区部会も協力している。</li> <li>・放課後子ども教室に地域住民が協力している。</li> </ul>

## 川戸地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進  【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者グループホーム「リべるたす」の行事等に住民が参加し、交流を図っているが、コロナ禍で中止。</li> </ul>
3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敬老会では、地域の方が一体となって盛り上げている。（R3年度はコロナ禍で中止）</li> <li>・ 地区部会や町内自治会等、地域団体の役員になっている高齢者は、地域行事でスタッフとして活動している。</li> <li>・ 地区部会の見守り隊やお助け隊の協力員として高齢者に参加いただいている。</li> <li>・ 福祉バザーの収益を活用し、満100歳の方に祝い金を渡している。</li> </ul>
	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者グループホーム「リべるたす」の行事等に住民が参加し、交流を図っているが、コロナ禍で中止。</li> </ul>
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区部会が、福祉に関する講座を予定していたがコロナ禍で中止。</li> </ul>

## 川戸地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実  【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内自治会長や民生委員が個別の相談対応を行っている。</li> <li>・各町内自治会及び民児協より地区部会役員として選任されているため、地区部会の状況や対応内容等、情報がスムーズに流れるよう心掛けている。</li> </ul>
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進  【目的】 地域で福祉の心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会が開催する敬老会に、千葉南高校、川戸中学校、川戸小学校の児童・生徒が参加し、高齢者と交流する機会を設けている。</li> <li>・障害者グループホーム「リべるたす」の行事等に住民が参加し、交流を図っている。</li> <li>・PTA・スポーツ振興会主催の餅つきや運動会、地域のサークルと子育てサロン（もーもークラブ）との菊見会、川戸保育園の七夕まつり、中学校の盆踊り等、地域行事を通じて、高齢者と児童の交流を図っている。</li> <li>・放課後子ども教室に地域住民が協力している。</li> <li>・福祉に関する講座を実施している。</li> </ul> <p>(※R3年度は、コロナ禍で中止)</p>
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進  【目的】 地域を住民自ら守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会の見守り隊やお助け隊の協力員から、地域の犯罪被害に関する情報が届くことも多い。</li> <li>・町内自治会単位で防犯パトロールや防災訓練を実施している。</li> <li>・学校とPTAが、夏休み、冬休み前の年2回、防犯パトロールを実施している。</li> <li>・「こども110番のいえ」に地域住民が協力している。</li> </ul>
	19 防災体制の充実  【目的】 地域の防災力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内自治会単位で防犯パトロールや防災訓練を実施している。</li> <li>・地区内の3か所の避難所すべてに避難所運営委員会があり、避難訓練を実施している。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 星久喜地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<p>1 身近なコミュニティづくりの推進</p>	<p>2 支え合い活動の仕組みづくり</p> <p>【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。</p>	<p>・主に民生委員が個別の相談対応に当たっている。また、あんしんケアセンターなどにも相談している。</p>
	<p>3 見守り体制をつくる</p> <p>【目的】 支援を必要とする人を日頃の付き合いの中で見守りながら、災害時に備える。</p>	<p>・23町内自治会で、高齢者等に対し、各町内自治会の班長が、日常的な目配りによる安否確認を行い、継続して見守り活動を行っている。 各班長に「見守り協力員の証」を配付し、何か気づいたことがあれば、民生委員や自治会長に連絡する体制を整えている。</p>
	<p>4 災害時に支援を必要とする人の避難支援</p> <p>【目的】 災害時に機能するサポート体制を構築する。</p>	<p>・地区内にある3か所の避難所全てに避難所運営委員会が設立されており、避難所ごとに訓練を実施している。また、各町内自治会の班長が見守り協力員になっており、日常の見守り活動を災害時にも生かす仕組みとしている。</p> <p>・町内自治会単位でも防災訓練を実施している。</p>

## 星久喜地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p><b>7 地域での健康づくり支援の充実</b></p> <p>【目的】 介護予防、ひきこもりの防止を兼ねた交流の場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ振興会が中心となって、グランドゴルフ大会などを開催している。</li> <li>・スポーツ振興会が実施している「ふれあい大運動会」では、高齢者が参加する競技を取り入れている。</li> <li>・スポーツ振興会が、バスハイキングを実施し、高齢者が多く参加している。</li> </ul> <p>(※ スポーツ振興会主催事業は、コロナ禍、ほぼ中止となった。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンでも青葉の森公園や都市緑化植物園での散策が行われている。</li> <li>・青葉の森ラジオ体操会が、青葉の森公園中央広場で、毎朝、ラジオ体操を行っている。</li> <li>・一部の町内自治会が、あんしんケアセンター松ヶ丘と連携し、介護予防や健康づくりの取り組みを行っている。</li> <li>・脳トレサロンにおいて、笑いヨガ・体操の時間を設けている。</li> </ul>
	<p><b>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</b></p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成委員会と地区部会で年末に書初めの練習会・年明けに書初め展示会を開催している。</li> <li>・育成委員会と公民館が共催し、凧作り、凧あげ大会を開催した。</li> </ul>
3 社会参加の推進	<p><b>12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進</b></p> <p>【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。</p>	
	<p><b>13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進</b></p> <p>【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。</p>	<p>No. 10と同様。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・星久喜小スポーツ振興会が、ふれあい大運動会を実施している。星久喜小・中学校の特別支援学級の生徒が参加している。</li> <li>・敬老会に星久喜中学校の特別支援学級の生徒がボランティアとして参加している。</li> <li>・障害者福祉委員会が11月上旬にある公民館主催の文化祭にて、作業所の作品を施設利用者と共に販売している。</li> </ul> <p>(※ コロナ禍で、何れも中止)</p>



## 星久喜地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実 【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員や地区部会事業のボランティアが個別の相談対応に当たっている。地区部会役員はパイプ役を担っている。</li> </ul>
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用 【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「ふくし」を年2回発行している。</li> <li>・緊急ノートを独居と75歳以上高齢者を対象に配布しており、対象世帯と民生委員がそれぞれ保管している。</li> </ul>
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進 【目的】 地域で福祉の心を育む。	No. 14と同様。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会が地域でどのような支援ができるかを考えるきっかけとするため、「発達障害を正しく知ろう」研修会を開催した。</li> </ul>
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進 【目的】 地域を住民自ら守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニ防犯ボックス（平成25年度より1ヶ所設置され、警察官OBが午後2～8時まで駐在する。）は、撤収された。</li> <li>・子ども110番のいえを実施している（約100軒）。</li> <li>・一部の町内自治会では、防犯パトロールを実施している。</li> </ul>
	19 防災体制の充実 【目的】 地域の防災力を高める。	No. 4と同様。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内にある3か所の避難所全てに避難所運営委員会が設立されており、避難所ごとに訓練を実施している。また、各町内自治会の班長が見守り協力員になっており、日常の見守り活動を災害時にも活かす仕組みとしている。</li> </ul>

# 中央区支え合いのまち推進計画に準じた取り組み状況(令和3年度)【重点取組項目以外】

資料3-3

## 千葉みなと地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
<b>1 身近なコミュニティづくりの推進</b>	<b>2 支え合い活動の仕組みづくり</b> 【目的】 地域での支え合い活動を推進し、生活課題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別のケースについては、町内自治会長や民生委員が個別に支援にあたっている。</li> <li>・支え合い活動のケーススタディとして、歩行不自由な高齢者の依頼にて社会保険事務所、病院への送迎支援を各1回ずつ実施した結果、今後の運営方法・仕組みづくりの参考になった。</li> <li>・地域支え合い連絡会の設立に向け、ボランティアや福祉活動推進員を確保するため、人材を募集している。</li> </ul>
	<b>4 災害時に支援を必要とする人の避難支援</b> 【目的】 災害時に機能するサポート体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に備え、避難所運営委員会が、年1回、避難所開設訓練を行っている。</li> <li>・避難所運営委員会の定例会議を隔月で実施した。</li> <li>・民生委員が持っている支援を必要としている人の情報を共有する方法を検討中。</li> </ul>
	<b>5 すべての子どもを地域で育てる</b> 【目的】 近所の子どもと顔見知りになることで、子どもの安全のための見守りにも寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でセーフティウォッチャーに協力している。</li> <li>・こども110番のいえに、地域住民・店舗・企業・マンション管理組合が協力している。</li> <li>・地区部会がセーフティウォッチャーやこども110番のいえの協力者募集のポスターを作成し、協力者の確保に協力している。</li> </ul>
<b>2 交流の場と仲間づくり</b>	<b>6 ふれあい・いきいきサロンの充実</b> 【目的】 身近な所で、つどい、交流する場所と機会を拡充する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の交流を図るため、一部の町内自治会で、集会所を利用し、シニアリーダー体操を実施している。</li> <li>・落語会、チョイ飲み会等、高齢者が交流する場を各町内自治会で実施しており、地区部会では、その情報を共有している。</li> </ul>
	<b>7 地域での健康づくり支援の充実</b> 【目的】 介護予防、ひきこもりの防止を兼ねた交流の場と機会を拡充する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の健康増進を図るため、一部の町内自治会で、集会所を利用し、シニアリーダー体操を実施している。今後、他の町内自治会でも実施すべくシニアリーダーと検討中。</li> <li>・地区部会が、地域住民の交流を図るため実施している「歩こう会」はコロナ禍で中止。</li> </ul>

## 千葉みなと地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
2 交流の場と仲間づくり	<p>8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進</p> <p>【目的】 地域のすべての子どもたちに、スポーツや文化を学ぶ機会を与え、子どもたちの健全育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都川河口一帯を「結城野(ゆうきの)」と呼んできたことから命名された「ゆうきの夏祭り」に、歴史パネルを展示し地域の歴史を学ぶ機会を提供している。</li> <li>・町内自治会ごとに、夏祭り、クリスマス会、文化祭等を実施している。(R3年度は、コロナ禍で中止)</li> </ul>
	<p>9 子育てサロンの充実</p> <p>【目的】 子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の町内自治会が、年1回、新1年生の親子の交流会を実施している。</li> <li>・マンションが実施している夏祭りで交流を図っている。</li> <li>・新宿地区部会のサロン開催のパンフを配布している。</li> </ul>
	<p>10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進</p> <p>【目的】 障がい者に対する理解を深め、多様な仲間づくりの環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区部会としては未実施</li> </ul>
	<p>11 世代間交流の場の提供</p> <p>【目的】 誰もが、気軽に出入りでき、世代間交流や助け合える関係をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションが実施している夏祭り等で交流を図っている。</li> <li>・年3回実施している公園清掃には、大人も子どもも参加しており、交流の機会となっている。</li> </ul>
3 社会参加の推進	<p>12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進</p> <p>【目的】 高齢者の地域社会での活動の場を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の町内自治会で、文化祭を実施しており、高齢者が趣味を披露する場となっている。</li> <li>・一部の町内自治会で、クリーンアップ作戦の案内をし、活動への参加を呼び掛けている。</li> </ul>

## 千葉みなと地区部会

基本方針	取組項目	令和3年度
3 社会参加の推進	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進  【目的】 障がい者の地域社会での活動の場を確保する。	・地区部会としては未実施
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供  【目的】 地域住民の介護力、福祉力の向上や福祉活動への理解と参加を促進する。	・地区部会としては未実施
5 相談体制、情報提供の場づくり	15 相談体制・情報提供の充実  【目的】 ちょっとした相談にのってくれる人が近所で得られる。	・地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員や町内自治会役員、マンションの管理人が対応している。
	16 福祉情報誌の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用  【目的】 地域に密着した福祉活動情報の充実。	・「ちばみなと.jp」と連携し、地域のイベント情報の発信に努めている。
6 福祉教育の推進	17 地域での福祉教育の推進  【目的】 地域で福祉の心を育む。	・町内自治会のクリーンアップ作戦に子ども達が参加し、地域の一員として活動している。
7 人にやさしい生活環境づくり	18 防犯対策の推進  【目的】 地域を住民自ら守る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でセーフティウォッチャーに協力。</li> <li>・こども110番のいえに、地域住民・店舗・企業・マンション管理組合が協力している。</li> <li>・地区部会がセーフティウォッチャーやこども110番のいえの協力者募集のポスターを作成し、協力者の確保に協力している。</li> <li>・一部の町内自治会では、月1回、防犯パトロールを実施している。</li> <li>・問屋町・千葉港東地区自治会が、中央区地域活性化支援事業を活用し、防犯カメラや防犯パトロールののぼり旗を設置した。</li> </ul>